

佳作

ぼくのひいじいちゃん

栃木県

大田原市立野沢小学校一年

おおの そうし

ぼくがようちえんをそつぎようするところにひいじいちゃんがいいました。

「そうは、なにいろのランドセルがいいんだい？」

ぼくは「あおがいい。」とこたえました。おかあさんとかたろぐをみて、こんいろのランドセルにきめました。ひいじいちゃんが、しょうがつこうにはいるおいわいに、かつてくれしました。みんなとかたちがうランドセルです。ほくは、きにいりました。ぼくがひいじいちゃんに、「ありがとう。」というと、ひいじいちゃんは「だいにしろよ。」といいました。

ひいじいちゃんがびようきになって、にゆういんしてしまいました。ぼくは、かなしくなりました。いつもいえにいるひいじいちゃんが、いなくなってしまったからです。ときどきおかあさんといもうととぼくで、びよういんへあいに

いきました。ひいじいちゃんはうれしそうでした。ぼくは、ひいじいちゃんのむみずをかいにくかかりでした。ひいじいちゃんは、「そうのにゆうがくしきにはたいいんしたいな。」といつていました。でも、ぼくのにゆうがくしきのひには、ひいじいちゃんはかえつてこられませんでした。

ぼくは、いちのさわしょうがつこうににゆうがくしました。にゆうがくしきには、ひいじいちゃんがかつてくれたランドセルをしょつていきました。びよういんにもランドセルをしょつていきました。ひいじいちゃんは、「かつこいい。」といいました。ぼくとひいじいちゃんは、いつしよにしゃんをとりました。ひいじいちゃんは、わらつていました。

そのあと、ひいじいちゃんが生んでしまいました。ぼくはもうひいじいちゃんにあえません。ぼくはランドセルをだいにしようとおもいます。ひいじいちゃんありがとう。